

決定通知をお持ちの【2026年4月ご入学のみなさま】

この通知は、進学後、進学先の学校への提出が必要です。紛失しないよう大切に保管してください。

令和8年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】

登録番号	99999901-100-00999		
学年等	3年	10組	
出席番号	A000001		
氏名	学校用 見本 (ガクウカミキ)		
	* 99999901	#5999999	

独立行政法人日本学生支援機構

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	貸与奨学金		入学時特別増額貸与奨学金	
	希望する	併用貸与・第一種奨学金・第二種奨学金の審査を希望する	希望する	希望する
希望する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

選考結果

選考結果	給付奨学金		貸与奨学金	
	候補者決定 第Ⅲ区分(多子世帯) 授業料等減免のみの支援	ア〜クのうち、「候補者決定」と記載のものを1つだけ選択できます ア:併用貸与 イ:第一種奨学金 ク:第二種奨学金	候補者決定	候補者決定
奨学金・在留資格等	○	○	○	○
家計	○	×	○	○
学業成績・学修状況に関する基準	○	○	○	○
進学後の期間、進学認定資格(見込)	○	○	○	○
マイナンバー手続済・預貯金等	○	○	○	○
その他必要事項	○	○	○	○

※1 奨学金審査(審査対象)に「多子世帯」の属性は、申請時に属しているか判定しています。その場合、奨学金審査は「第Ⅲ区分(多子世帯)」に属しているものと判定します。ただし、「候補者決定のみの支援」の属性は、併用貸与の属性はありません。また、「第Ⅲ区分(多子世帯)」の属性があれば、私立大学等奨学金の審査の対象であるか判定された後、第Ⅲ区分の奨学金審査の対象となります。審査結果をふまえてどのような奨学金が受けられるか、奨学金ホームページに掲載の「貸付奨学金採用候補者のしおり」8ページを参照してください。

※2 「○」は各条件・資格等項目、「×」は特例(必要書類の不備や他奨学金の理由による判定可を意味)、「-」は申込時に確認していないため判定できないことを示します。

※3 貸与奨学金の審査に合格した奨学金の額は、0.00万円未満の場合「0」、多子世帯に属しているとして判定されている貸与奨学金は、0.00万円以上の貸与奨学金となります。どちらにも該当しない場合は「X」が記載されています。「○」や「×」である場合は、給付奨学金の属性はありますが、貸与奨学金には審査に関する基準の存在しないため、一律で利用不可としています。

2. 採用候補者となった奨学金の内容について

利用条件	給付奨学金	第一種奨学金 (無利子)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額 貸与奨学金(有利子)
	第Ⅲ区分(多子世帯) ◆ 授業料等減免のみの支援 生活保護受給世帯	○	○	○
併用貸与	○	○	○	○
返済方式	○	○	○	○
保証制度	○	○	○	○
利率の算定方法	○	○	○	○

(注意事項)
① 必ず本通知に同封されている「採用候補者に決定した皆さんへ」及び本機構ホームページに掲載の「給付奨学金採用候補者のしおり」又は「貸与奨学金採用候補者のしおり」を熟読してください。
② 国内大学等進学者は、裏面に記入のうえ、進学後すみやかに進学先学校に提出し、期限内に手続きをしてください。
③ 海外大学進学者は「貸与奨学金採用候補者のしおり」28ページに従って手続きを行ってください。

交付書類コード=E

記入内容は、
交付書類コードごとに
ご案内します



【(国内大学等進学用) 進学後記入欄】

※海外大学進学者は記入不要です。

学籍番号				
学部・学科				
氏名(カナ)				
氏名(漢字)				
進学後の連絡先(本人)	住所	〒	電話番号	携帯電話番号
	-	-	-	-

1. 奨学金振込口座について (全員次の口にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

進学届にて「自宅通学」を選択します(入学月より自宅通学となるため)。

進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学月より自宅外通学となるため)。
については、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込・必要」と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック)

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。
※「貸与奨学金採用候補者のしおり」18ページのとおり、事前に「国の教育ローン」の申込み等手続きを行う必要があります。また、進学後に提出する進学届で下記①か②のいずれかの日付情報を入力するため、予め本紙にも日付を記載してください。
①保護者等が日本政策金融公庫から受領した「融資できない旨が記載された日本政策金融公庫発行の通知文」の日付 : 202 年 月 日
②保護者等が「国の教育ローン」を申込みできないことを日本政策金融公庫へ確認した日付 : 202 年 月 日

インターネットでも提出する進学届の提出時に、入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(「国の教育ローン」を申し込んで利用できた場合又は申し込まなかった場合を含む)。

(2) 保証制度 「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口にチェック)

連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。

進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します(条件を満たす十人に承諾を得られなかった場合を含む)。

★本通知【提出用】を紛失した場合には、奨学金の振込開始が大幅に遅れますので、紛失しないよう気を付けてください。

次のページで注意事項
をご案内します



【提出用】の裏面を事前にご記入お願いします

【(国内大学等進学者用) 進学後記入欄】

※海外大学進学者は記入不要です

学籍番号					
学部・学科					
氏名(カナ)					
氏名(漢字)					
進学後の 連絡先 (本人)	住所	〒			
	電話番号	-	-	携帯 電話 番号	- -

1. 奨学金振込口座について (全員次の口にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

進学届にて「自宅通学」を選択します(入学月より自宅通学となるため)。

進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学月より自宅外通学となるため)。
については、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

(入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：必要」と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック)

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。
※「貸与奨学生採用候補者のしおり」18ページのとおり、事前に「国の教育ローン」の申込み等
手続きを行う必要があります。また、進学後に提出する進学届で下記①か②のいずれかの日付
情報を入力するため、予め本紙にも日付を記載してください。

①保護者等が日本政策金融公庫から受領した「融資できない旨が記載された
日本政策金融公庫発行の通知文」の日付 : 202 年 月 日

②保護者等が「国の教育ローン」を申込みできないことを
日本政策金融公庫へ確認した日付 : 202 年 月 日

インターネットで提出する進学届の提出時に、入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(「国の教育ローン」を申し込んで利用できた場合又は申し込まなかった場合を含む)。

(2) 保証制度 (「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口にチェック)

連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを
確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。

進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します(条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む)。

★本通知【提出用】を紛失した場合には、奨学金の振込開始が大幅に遅れますので、紛失しないよう気を付けてください。

【全員記入】

- ・学籍番号はあけておいてください(説明会の際に記入します)
- ・住所は自宅外通学の方は、1人暮らしの住所を記入してください
- ・電話番号は、日中連絡のとれる保護者の連絡先を記入してください
- ・携帯番号は、学生本人の連絡先を記入してください

【全員記入】

学生本人名義の口座開設は済んでいますか？

「はい」⇒を入れてください

「いいえ」⇒『入学式まで』に口座開設をしてください

★奨学金振込口座に設定できるのは
【学生本人名義のみ】です★

詳細は「採用候補者のしおり」を確認してください



令和8年度 給付奨学生
採用候補者のしおり



令和8年度 貸与奨学生
採用候補者のしおり

【(国内大学等進学者用) 進学後記入欄】

※海外大学進学者は記入不要です。

学籍番号					
学部・学科					
氏名(カナ)					
氏名(漢字)					
進学後の 連絡先 (本人)	住所	〒			
	電話番号	-	-	携帯電話 番号	- -

1. 奨学金振込口座について (全員次の口にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

進学届にて「自宅通学」を選択します(入学月より自宅通学となるため)。

進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学月より自宅外通学となるため)。
については、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

(入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：必要」と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック)

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。
※「貸与奨学生採用候補者のしおり」18ページのとおり、事前に「国の教育ローン」の申込み等
手続きを行う必要があります。また、進学後に提出する進学届で下記①か②のいずれかの日付
情報を入力するため、予め本紙にも日付を記載してください。

①保護者等が日本政策金融公庫から受領した「融資できない旨が記載された

日本政策金融公庫発行の通知文」の日付 : 202 年 月 日

②保護者等が「国の教育ローン」を申込みできないことを

日本政策金融公庫へ確認した日付 : 202 年 月 日

インターネットで提出する進学届の提出時に、入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(「国の教育ローン」を申し込んで利用できた場合又は申し込まなかった場合を含む)。

(2) 保証制度 (「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口にチェック)

連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを
確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。

進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します(条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む)。

★本通知【提出用】を紛失した場合には、奨学金の振込開始が大幅に遅れますので、紛失しないよう気を付けてください。

【交付書類コード:D・E・F・Gの方】

「自宅から通学」ですか? 「一人暮らし」ですか?

『自宅から通学』⇒自宅通学を選択するに☑を入れてください

『一人暮らし』⇒自宅外通学を選択するに☑を入れてください

★自宅外通学を選択される方★

入学後に、賃貸借契約書等の証明書類の提出が必要です

チャートを確認し、あらかじめご準備をお願いします



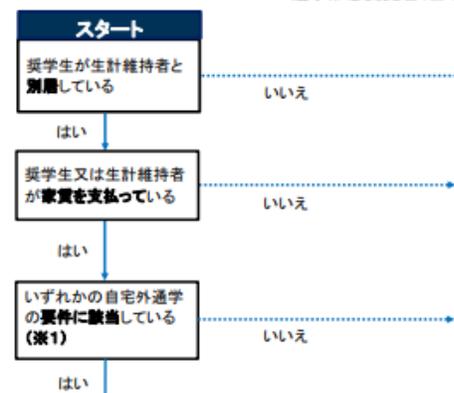
チャートは次のページ

自宅外通学要件確認チャート

通学形態変更届(自宅外通学)

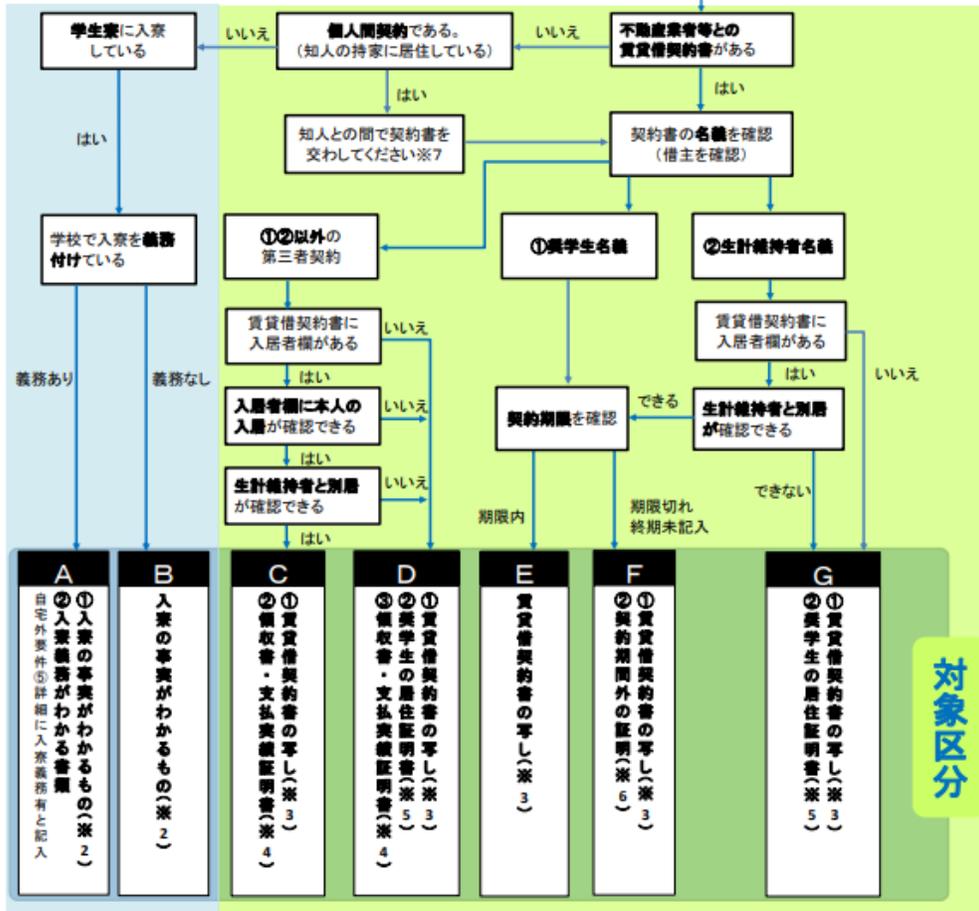
※1. 自宅外通学の要件

- ①実家(生計維持者いずれもの居住地)から大学等までの距離が片道60キロメートル以上(目安)
- ②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上(目安)
- ③実家から大学等までの通学費が月1万円以上(目安)
- ④実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であり、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間あたり1本以下(目安)
- ⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合



- ・自宅外通学の対象者が
 - ・必要書類は何か
- 確認しておいてください

左のチャートと同じものをQRコードから見てもらえます



A	B	C	D	E	F	G
自宅外要件⑤詳細に入寮義務有と記入	①入寮の事実がわかるもの(※2)	①賃貸借契約書の写し(※3) ②領収書・支払実績証明書(※4)	①賃貸借契約書の写し(※3) ②奨学生の居住証明書(※5) ③領収書・支払実績証明書(※4)	賃貸借契約書の写し(※3)	①賃貸借契約書の写し(※3) ②契約期間外の証明書(※6)	①賃貸借契約書の写し(※3) ②奨学生の居住証明書(※5)

対象区分

自宅通学のため申請不可



●各証明書類を調えるにあたっては裏面をご参照ください。
●対象区分がC~Gに該当している場合でも自宅外要件⑤において入寮義務有と記入している場合は、申請に必要な書類だけでなく入寮義務がわかる書類と合わせて提出ください。

【(国内大学等進学者用) 進学後記入欄】

※海外大学進学者は記入不要です。

学籍番号				
学部・学科				
氏名(カナ)				
氏名(漢字)				
進学後の 連絡先 (本人)	住所	〒		
	電話番号	-	-	携帯電話 番号
		-	-	

1. 奨学金振込口座について (全員次の口にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

進学届にて「自宅通学」を選択します(入学月より自宅通学となるため)。

進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学月より自宅外通学となるため)。
については、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

(入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込:必要」と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック)

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。
※「貸与奨学生採用候補者のしおり」18ページのとおり、事前に「国の教育ローン」の申込み等
手続きを行う必要があります。また、進学後に提出する進学届で下記①か②のいずれかの日付
情報を入力するため、予め本紙にも日付を記載してください。
①保護者等が日本政策金融公庫から受領した「融資できない旨が記載された
日本政策金融公庫発行の通知文」の日付 : 202 年 月 日
②保護者等が「国の教育ローン」を申込みできないことを
日本政策金融公庫へ確認した日付 : 202 年 月 日

(2) 保証制度 (「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口にチェック)

連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを
確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。

進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します(条件を満たす人に承諾を得ら
れなかった場合を含む)。

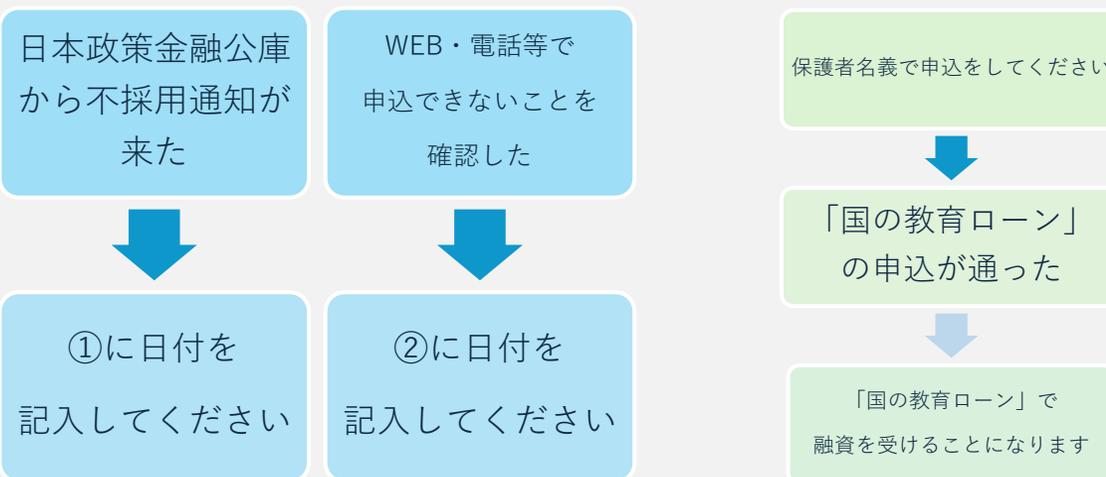
★本通知【提出用】を紛失した場合には、奨学金の振込開始が大幅に遅れますので、紛失しないよう気を付けてく
ださい。

【交付書類コード:B・Eの方】

事前に保護者名義で「国の教育ローン」の申込が必要です

《申込済》

《まだ申し込んでない》



※申込が通らなかった場合は、①②どちらかを記入してください

【(国内大学等進学者用) 進学後記入欄】

※海外大学進学者は記入不要です。

学籍番号				
学部・学科				
氏名(カナ)				
氏名(漢字)				
進学後の 連絡先 (本人)	住所	〒		
	電話番号	-	-	携帯電話番号
				-

1. 奨学金振込口座について (全員次の口にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

進学届にて「自宅通学」を選択します(入学月より自宅通学となるため)。

進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学月より自宅外通学となるため)。
については、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

(入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：必要」と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック)

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。

※「貸与奨学生採用候補者のしおり」18ページのとおり、事前に「国の教育ローン」の申込み等手続きを行う必要があります。また、進学後に提出する進学届で下記①か②のいずれかの日付情報を入力するため、予め本紙にも日付を記載してください。

①保護者等が日本政策金融公庫から受領した「融資できない旨が記載された日本政策金融公庫発行の通知文」の日付 : 202 年 月 日

②保護者等が「国の教育ローン」を申込みできないことを日本政策金融公庫へ確認した日付 : 202 年 月 日

インターネットで提出する進学届の提出時に、入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(「国の教育ローン」を申し込んで利用できた場合又は申し込まなかった場合を含む)。

(2) 保証制度 (「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口にチェック)

連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。

進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します(条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む)。

★本通知【提出用】を紛失した場合には、奨学金の振込開始が大幅に遅れますので、紛失しないよう気を付けてください。

【交付書類コード：G以外で保証制度が『人的保証』の方】

連帯保証人・保証人を依頼する方に承諾をもらっていますか？

「はい」⇒『承諾を得ました』に☑を入れてください

「いいえ」⇒人的保証から機関保証に変更しますに☑を入れてください

★注意してください★

入学後に、スカラネットより『進学届』の入力をします。

『進学届』入力後の「保証制度」の変更は簡単ではありません。

※機関保証から人的保証への変更はできません

※人的保証から機関保証へ変更する場合、時間がかかります

『進学届』の時であれば、簡単に変更ができます

入学までによく確認をしておいてください